

## 正多面体の外接球と内接球

中川 宏

正多面体の丸さについて、内接球半径  $a$  と外接球半径  $b$  との比を指標とする考え方がある。

$b/a$  が 1 に近いほど丸いというわけである。

正四面体の一辺  $BC=4$  とする。

$$AB=2\sqrt{3}$$

$$AE=2\sqrt{2}$$

$$AD=1/3AB$$

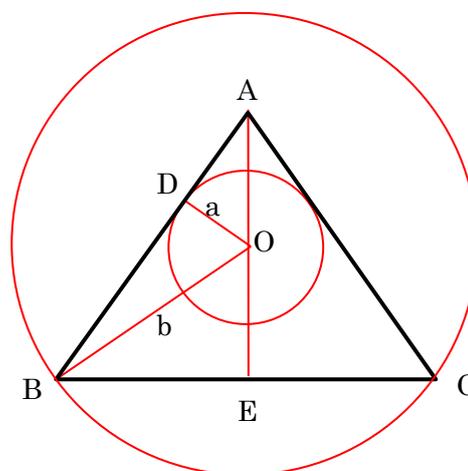
$OA=OE$  より、

$$a^2=(\sqrt{2})^2-(2/3\sqrt{3})^2=2/3$$

$$b^2=2^2+(\sqrt{2})^2=6$$

よって

$$b/a=3$$



立方体の一辺  $BC=2$  とする。

$$OA=1$$

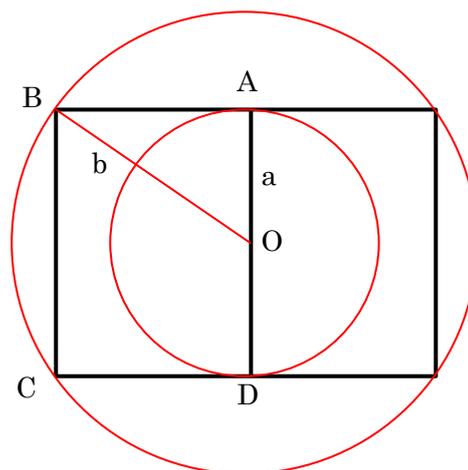
$$AB=\sqrt{2}$$

よって、

$$OB=\sqrt{3}$$

したがって

$$b/a=\sqrt{3}$$



正八面体の一辺  $BC=2$  とする。

$$OA=b=\sqrt{2}$$

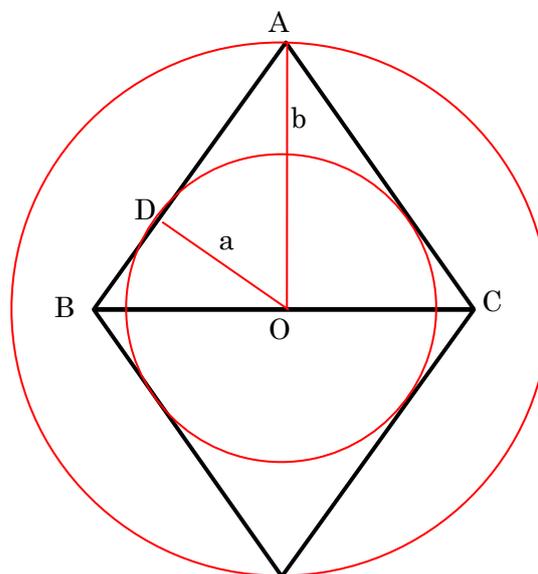
$$AB=\sqrt{3}$$

$$DB=1/3AB=(\sqrt{3})/3$$

$$a^2=1^2-(\sqrt{3}/3)^2=2/3$$

よって

$$b/a=\sqrt{3}$$



正12面体の一辺  $BC=2/\tau$  とする。

$$\tau = \frac{1+\sqrt{5}}{2}$$

$$BE=1/\tau = \tau - 1$$

$$OE=AF=\tau$$

$$FB=1$$

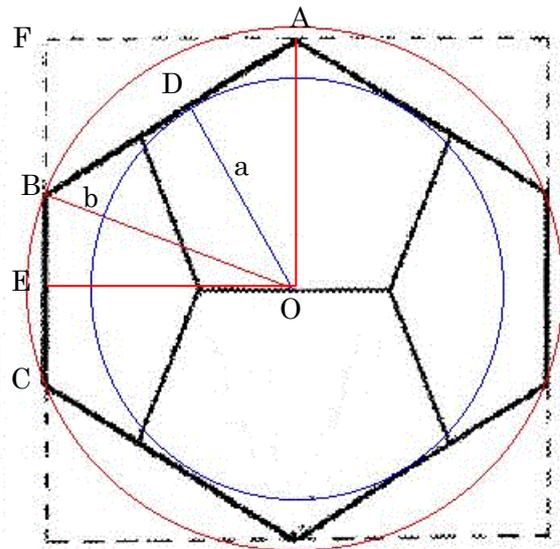
$$b^2 = \tau^2 + (\tau - 1)^2 = 1 + \tau + 1 + \tau + 1 - 2\tau = 3$$

$$a : AO=AF : AB \text{ より}$$

$$a^2 = \tau^4 / (\tau^2 + 1)$$

$$b^2 / a^2 = (3\tau + 6) / (3\tau + 2)$$

$$b/a = \sqrt{\frac{3\tau + 6}{3\tau + 2}} \sim 1.2584$$



正20面体の一辺  $BC=2$  とする。

$$OE=OA=\tau$$

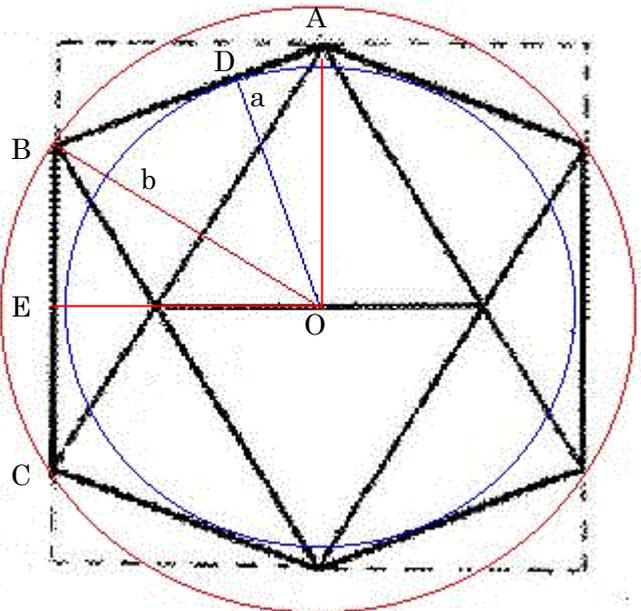
$$AB=\sqrt{3}$$

$$AD=\sqrt{3}/3$$

$$a^2 = \tau^2 - 1/3$$

$$b^2 = 1 + \tau^2$$

$$b/a = \sqrt{\frac{3\tau + 6}{3\tau + 2}} \sim 1.2584$$



以上の結果から、もっとも  $b/a$  が1に近いのは正12面体と正20面体、つぎに立方体と正八面体となった。それらはどちらも、双対の関係にある立体であるから、球に対する指標  $b/a$  が全く同じ値をとるというのは納得しやすいことだと思う。

ところで、この  $b/a$  について、次のような表し方があるという。

$$\text{正 4 面体} : \sqrt{3} \cdot \tan(\pi/3) = 3$$

$$\text{正 6 面体} : \sqrt{3} \cdot \tan(\pi/4) = \sqrt{3}$$

$$\text{正 8 面体} : \sqrt{3} \cdot \tan(\pi/4) = \sqrt{3}$$

$$\text{正 12 面体} : \sqrt{3} \cdot \tan(\pi/5) = \sqrt{(15-6\sqrt{5})} \approx 1.732$$

$$\text{正 20 面体} : \sqrt{3} \cdot \tan(\pi/5) = \sqrt{(15-6\sqrt{5})} \approx 1.732$$

([http://www004.upp.so-net.ne.jp/s\\_honma/polygon.htm](http://www004.upp.so-net.ne.jp/s_honma/polygon.htm) より引用)

正 4 面体が 3 回対称軸、立方体と正八面体が 4 回対称軸、正 12 面体と正 20 面体が 5 回対称軸を持つという特徴とぴったり符合するきれいな表記だともう。

どのようにしたら上記のように表せるのだろうか？